令和４年度第２回　栗橋公民館運営審議会開催結果

日　時 ： ２月 28 日（火）10 時 30 分～11 時 45 分
場　所 ： 橋野ふれあいセンター会議室
出席者 ： 審議会委員(5 名出席)
遠野健一委員長、川崎悦三郎副委員長、川崎通委員、八幡裕子委員、遠藤朱実委員
（欠席委員２名：八木澤江利子委員、八幡和郎委員）
事務局　市民生活部まちづくり課　佐々木主幹、浦城主任
栗橋公民館　二本松公民館長、三浦主査

公民館長が公民館運営審議会の開会を宣言。委員 7 人中 5 人が出席しているため同審議会が成立していることを報告。
委員長が議長となり会を進行した。

協議１　　令和４年度釜石市立栗橋公民館運営経過
結果　　水生生物調査の開催場所の「轟橋」を「道々橋」へ訂正したうえで承認された。

協議２　　令和５年度釜石市立栗橋公民館運営計画(案)
結果　　事務局案に「スマホ体験教室」を追加することとして承認された。

【　議事録　】

議長 ： まずは令和４年度実績について、委員の皆様方からご意見、ご質問等を頂戴したいと思います。
栗橋の高齢化率は約 50 パーセントになりますか。
そういう状況で、公民館の役割は重要ですよね。

事務局 ： 確かに栗橋の高齢化率は高いのですけど。他の地区にはない特徴もあるように思います。栗橋の高齢者の多くは、年金以外の収入を稼いでいます。例えば、産直どんぐりがあるので、高齢者でも野菜等をつくって、野菜を出荷して、少しでも収入を得ている方がいます。また、栗林では、梅を栽培していて、お酒メーカーへ梅酒の原料として出荷するそうです。栗橋には田畑があるので、田畑を収入源にしたいろいろな活動をしています。お菓子を作って産直どんぐり等に販売しているグループもあります。お盆の時期になると、お土産づくりをしている人もいます。正月前には、しめ縄づくりも行われ、地域の人達がお手伝い

に行って収入を得ています。
これは、もちろんお金を稼いでいるという点もすばらしいことだと思いますが、こういうライフワークがあるということが、この地区のすばらしいところだなと思っています。

委員 ： たしかに、生き生きと健康に、高齢になっても野菜作って生活しているとか、すばらしい地区だと思います。

事務局 ： 来年度の事業計画の中でも説明させてもらいますが、「公民館事業やるから来て来て」だけでなく、皆さんのそういう生活スタイルを尊重しながら実施していかなければならないなと思いました。

議長 ： 公民館事業をする時期は、農作業をする時期や、各団体や町内会や婦人会や老人クラブとの事業との兼ね合いを考慮する必要があると思います。タイアップする場合にしてもですが。
栗橋の特徴を生かしながら事業を行い、出来れば、若い人も参加してくれれば良いと思います。

委員 ： 橋野でやっている味噌づくりも、高齢化が問題だと言われているそうです。今一生懸命やっている方達も、70 歳は越えてきているので、思いものを持つのが辛くなってきたり、長時間の作業は疲れるようです。

事務局 ： 味噌づくりについて、みどり通信に掲載しようかと検討したこともあったのですが、万が一いっぱい来られても対応出来ない、という課題もあって止めました。

委員 ： 味噌づくりは昔、それぞれ各地区で作っていたと聞いたことがあります。
だから、栗林でもやっていたのではないでしょうか。

議長 ： 私が子供の頃は、家で味噌玉を作って、それから…。その後の行程は忘れましたが、いずれ作っていました。

委員 ： 各自でそれぞれの家で作っていました。「手前みそ」という言葉がありますが、各自でそれぞれ味噌を作っていたことから生じた言葉です。

議長 ： 栗橋の特徴を生かし、栗橋は頑張っていますよという情報を発信すると同時に、栗橋の特色を散りばめた事業を考えてもらえたらと思います。大変難しいことではありますが。

水生生物調査の場所について、昔は道々橋のところで実施していましたが、今回は轟橋でやったのですか。

事務局 ： 道々橋のところで実施しました。資料の訂正をお願いします。

委員 ： 水生生物調査の結果はいかがでしたか。

事務局 ： きれいな水でした。前提として、子供たちが川に入るので、調査場所を選定する段階で、安全な場所、ある程度きれいな場所を選んでいる、という事情がありますので、ほぼ結果は「きれいな水」となり、子供たちへは今後もきれいな川を維持していきましょうね、という啓蒙を図っていく流れになります。

議長 ： 小学校で実施したソバ打ち体験については、他市から橋野町へ移住してきた若い男性もお手伝いとして参加したのですね。これからいろいろ勉強していくのですね。

委員 ： その方は、キクイモやソバ等もやっているようです。

委員 ： どこから来た人ですか。

事務局 ： 神奈川県相模原市からきました。

委員 ： 何歳くらいですか

委員 ： 20 歳代後半とお聞きしました。

議長 ： 栗橋地区にとっては貴重な人材ですね。

事務局 ： 今まで栗林小学校の行事で農業に関するお手伝いをしてきた橋野町の男性がいらっしゃったのですが、高齢のためそろそろ辞めるということですが、その役割をこの方が引き継ぐということです。

議長 ： それはすごいですね。

事務局 ： 小学校で実施したソバ打ち体験の時も、子供たちは、若く爽やかなタイプだったので、すごく喜んでいました。
子供との交流も慣れているのか、とても上手でした。

委員 ： 彼は話題も豊富だし、外国にも行って来るだけあって凄い人だと思います。

議長 ： 他所から来て頂けると、地域の活性化にもなります。

委員 ： そう思います。また、他所から来て頂けないと、自分の地域の良さも分からないと思います。

委員 ： 今年度の公民館事業の特徴としては、音楽関係コンサートを数多く開催したようですね。

議長 ： クリスマス映画鑑賞会は、DVD を選定するのに苦労されたようですね。作品あまり多くないんですね。

事務局 ： 図書館から外部団体へ貸出し可能な DVD となると、本数に限りがあるようです。

議長 ： 今回、砂子畑集会所で開催した際には、少し大きめのテレビの画面に映しましたが、スクリーンとプロジェクターを使って、もっと大きな画面で放映することは出来ないか。

事務局 ： プロジェクターとパソコンを繋げて出来るとは思います。

委員 ： それよりも、外部団体が借りて見ることが出来る DVD そのものが少ないということですよね。

事務局 ： 著作権の問題があるようです。

議長 ： そういう課題があるのは理解しました。そういう中でも、映画鑑賞会とか、音楽コンサートとかには今後も期待したいです。

事務局 ： 今年度実施した公民館事業の中で一番参加人数の多かったのが、音楽コンサートでした。

委員 ： ピアノはどうしたのですか。

事務局 ： 電子ピアノで対応しました。

委員 ： 会場場所が栗林か橋野かによって、参加申込者の送迎も必要だったようですね。栗

橋公民館の職員が送迎したのか。

事務局 ： そうです。事業によっては、同じ内容のものを栗林と橋野と双方の会場でそれぞれ開催したものもありますが、音楽コンサートになると演者側の都合もあり 1 回だけの開催になりますので。
平日の昼間であれば、事前予約が取れるのであれば、市のマイクロバスを利用するということも可能ですが、いずれ、交通事故に気を付けながら対応していきたいと思います。

委員 ： ふるさと再発見地域学習会について、子供たちが採れるような化石があるのですか。どの辺にあるのか。

事務局 ： 講師の方に案内されて行ったのですが、ずっと奥の方でした。

議長 ： 私も行ったことがあります。仙磐山の入口の方だと思います。栗林銭座のずっと奥の方に行くと、鳥居があって、その周辺だったと思います。珍しい層のようです。

委員 ： 地元のことですが、知りませんでした。

議長 ： 今年度中止になった「史跡めぐり研修会」は、市外の史跡等を見に行く予定だったのですか。市のバスを利用してですか。

事務局 ： はい。

議長 ： 例えば、今年は橋野住民対象、次は栗林住民対象、という形でも良いと思います。どのような希望が出てくるか、まだ分かりませんが。

事務局 ： 一部の住民から「橋野水車まつりの際には、バスをリースして栗橋以外からお客を呼び込んでいるけど、同様に私たちもバスで栗橋以外へ出掛けて行きたい。」というお話もお聞きしております。

委員 ： 防災講座は人数あまり集まりませんでしたね。

議長 ： 防災は大切なことだかからやるべきことだと思いますが、集まりは良くなかったですね。

委員 ： ニーズを捉える、というのが難しいですよね。

議長 ： 良い事業をしようとしているのだけれども、人が集まらないという課題がある。また、若い人を対象にしようとして、土日に開催しても、集まりはあまり良くないようです。

委員 ： ちなみに、栗橋以外の公民館では、若い人の参加状況はどうなっていますか。

事務局 ： 栗橋以外でも、成人期の若い人はなかなか集まらない傾向です。子供が参加するので一緒に親が参加するというのはあります。60 歳代以降の年齢を対象とした事業が多いです。健康に関するものとか、運動してみましょうとか、趣味的に何かを作ってみましょうとか、そういうものに人気があるように感じています。最近では、スマホ体験教室にニーズが出てきているように思います。

議長 ： 昔から人をいかに集めようと努力してきていますが、栗橋地区ではなかなか難しいところです。

事務局 ： 橋野の住民で、布で草履を作れる方がいらしたので、公民館事業の講師を打診した経緯があるのですが、高齢であるため他人に教えることまでは無理との回答でした。

委員 ： 草履も、昔は作れる人がいっぱい居ました。だんだん亡くなってきて、後世に残したいと教えてもらっていた人もいるのですが、それぞれ忙しくなったりして、中断してようです。橋野の郷土芸能である獅子踊りにも草履が必要ですし。

委員 ： 以前、地域の広報誌「みどり通信」に「権利擁護啓発事業」の記事が載っていたが、これは公民館事業ではなかったのですか。

事務局 ： 公民館事業ではありませんでした。庁内機関から記事掲載を依頼されたものです。

委員 ： みどり通信について、あまりに色が多すぎると思う。特に黄色が見えにくい。もう少し色を減らして、強調したいポイントに色を付けるようなメリハリがあっても良いと思います。

議長 ： 今、私の手元にみどり通信がありますが、確かに黄色は見えにくいですね。ご検討をお願いします。

委員 ： 公民館事業の予算は、どうなっているのですか。一括して付いているのか。

事務局 ： 例えば、講師謝礼金は、講師謝礼金として予算確保しています。

あと、ラベンダースティックづくり等の例でいえば、参加者から材料費等としてご負担して頂いております。基本的に大きな市予算をつかっている公民館事業はありません。

議長 ： 他にご意見等が無いようですので、令和４年度実績に係る協議については終わりたいと思います。
続いて、令和５計画案についての協議へ移ります。

事務局 ： 今年度一年間やってみた中で分かったこと等を踏まえながら、来年度実施していこうと思っています。
今年度、コロナの影響で実施できなかった事業について、来年度は一つでも実施できるようにしていきたいです。また、どうしても参加者が集まらないような事業につては、思い切って止めるということも必要なのかと考えています。

議長 ： 委員の皆様、何かご意見ご質問ございますか。

委員 ： スマホ体験教室について、来年度なにか考えていますか。

事務局 ： ご要望があれば計画したいと思っています。

委員 ： 令和５年度計画案の中に追加して頂きたいです。

事務局 ： 承知しました。
今年度開催したＤＸ推進室主催のスマホ体験教室では、栗橋地区の申込者は少なかったのですが、追加します。

議長 ： 他にないようですので、以上で協議事項は終了します。

事務局 ： これにて、令和４年度第２回栗橋公民館運営審議会を閉会いたします。